

国際会議報告†

The IEEE 2018 International Conference on Advanced Robotics & Mechatronics (IEEE ARM 2018)

朱赤*

主催：IEEE SMC (Systems, Man, and Cybernetics Society), IEEE RAS (Robotics & Automation Society)

日時：2018年7月18日～7月20日

会場：National University of Singapore (NUS), シンガポール国立大学, シンガポール

2018年7月18日から3日間の日程で、シンガポール国立大学にて開催された。

研究発表は13 oral presentation sessions, 5 poster sessions, 1 award sessions, 計158件だった。また、3件のPlenary Talk, と9件のKeynote Talkもあった。投稿件数は15国から243件で採択率は65%であった。

私はこの会議のOrganizing committeeのSpecial Session Chairとして、2018年の1月から、Rehabilitation robot system, Neuro-robotics, Wearable robots, 3つのoral presentation sessionを企画し、研究者たちに投稿を呼びかけた。その結果、3つのセッションで計32件の論文を採択し、著者たちが発表を行うまでに至った。Special Session Chairとして、大会に大きく貢献できたといえる。

また、私は2018年7月14日～7月16日に中国上海にて開催されたi-CREAT2018&HCR2018 (The 12th International Convention on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology & The 2nd Shanghai International Symposium on Human-Centered Robotics)のKeynote Speakerとして招へいされ、講演を行った。i-CREAT2018&HCR2018の後の翌日7月17日に、上海から直行便でシンガポールに行った。

大会初日の7月18日の午前中は、Opening Ceremonyの後は2件のPlenary Talk (図1)、午後は1件のPlenary Talk, と数件のKeynote Talk, そして1つのposter sessionを行った。

2日目はoral presentation session (図2), poster sessions, Keynote Talk 以外、1つのaward sessionも行われた。私が企画した3つのセッションはこの日に行われた。同じ分野の研究者たちが活発な意見交換を行い、非常に有益な時間となった。ちなみに、事情により自身の研究室では論文を出せなかったが、長期間に渡って共同研究をしている中国の南開大学の段峰先生 (H31年度から本学の客員教授) から1篇の論文が投稿・採択された。

3日目はoral presentation session, poster sessionsを行い、大会が無事に終わった。その後、シンガポール国立大学の研究室を見学し (図3)、シンガポールのロボットの研究開発に関して理解を深めた。

このような国際会議の企画・参加・発表・見学を通して、発表の質疑応答だけでなく、世界各地からの研究者たちとの意見交換を通じて、研究交流を深め、研究動向を把握することは、自身の研究に非常に有益なることを強く再認識した。

最後に、IEEE ARM 2019は2019年7月3日～5日の日程で、日本の大阪で開催予定である。私がOrganizing Co-chairsとなっているので、大会の成功に尽力しないとイケない。



図1 Plenary Talkの様子



図2 Oral presentationの様子

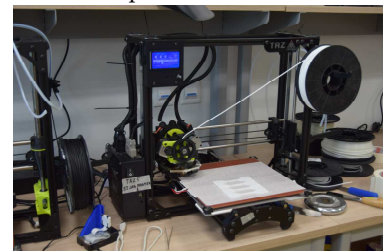


図3 シンガポール国立大学の研究室の見学

† 原稿受理 平成31年3月28日 Received March 28, 2019

* システム生体工学科 (Department of Systems Life Engineering)

